

Information

令和4年5月25日



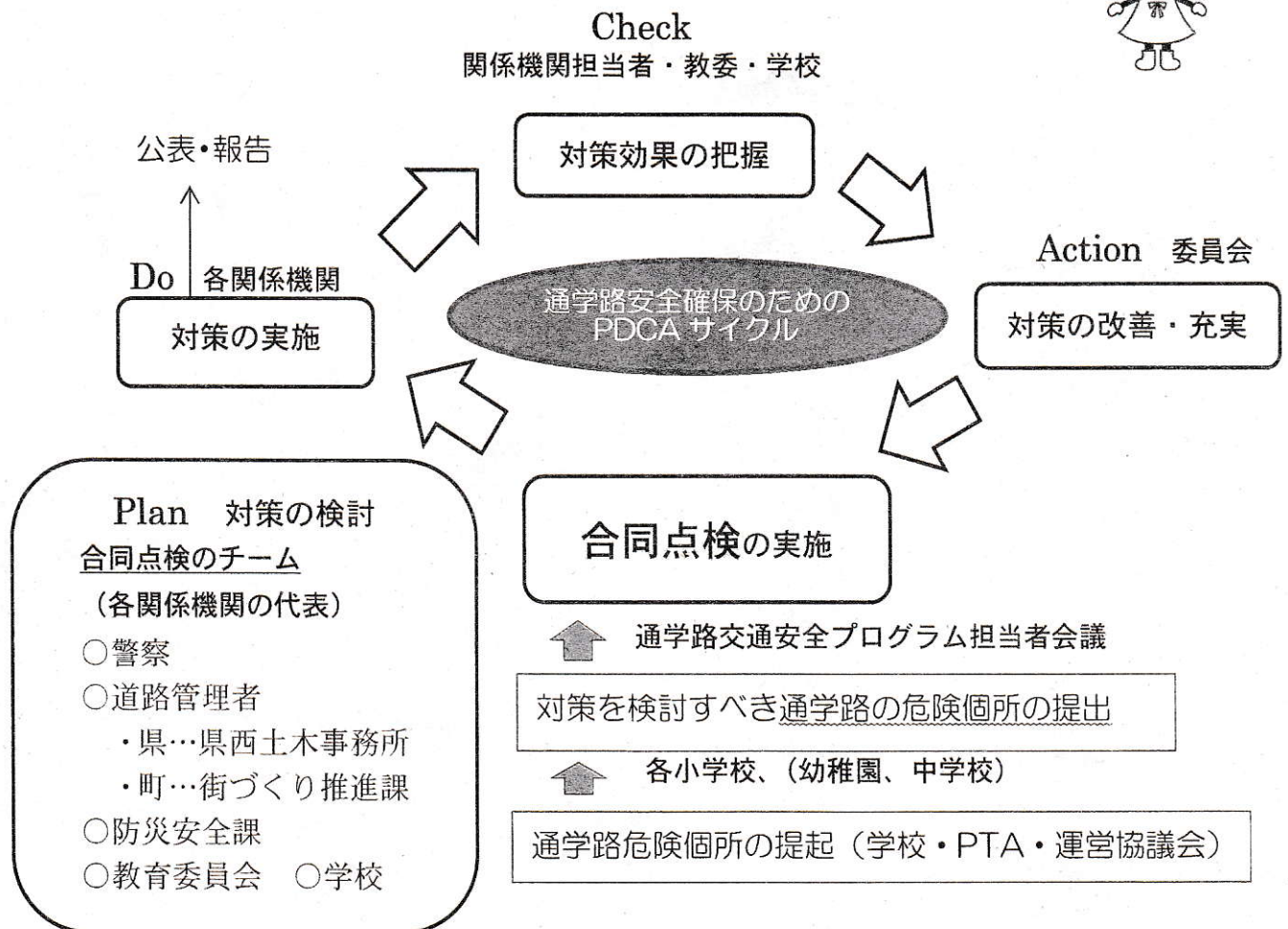
開成町 学校・地域安全推進委員会

皆様におかれましては、日頃より子どもたちへの安全確保に向けてのご協力やご配慮、誠にありがとうございます。

さて、令和3年6月、千葉県八街市で下校中の小学生がトラックに衝突され、5人が死傷されるという痛ましい交通事故が発生しました。通学路における交通事故は未だ後を絶たない状況にあります。こうした情勢を受け、文部科学省、国土交通省及び警察庁が連携して通学路における全国的に合同点検を実施することになりました。このことにつきましては、テレビや新聞で大きく報道されました。

そこで、今回は、これまでのInformationとは違いますが、通学路の合同点検についての開成町の具体的な取組についてお知らせをしようと考え、発行することといたしました。

通学路の合同点検とは何かを考えてみましょう。



通学路の合同点検とは、合同点検チームが、提出された通学路の危険個所を把握し、対策の検討を行うことです。



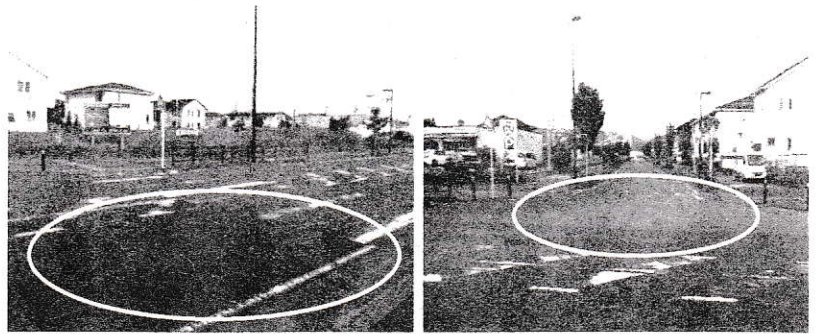
実際には、どのように対策を講じられているのか説明しましょう。

- ①小学校から危険個所の提起がありました



横断歩道が消えてしまい、車からとても見にくい。園児や小学生が横断する時、安全に横断するために横断歩道をかき直してほしい。

▼場所は、どんぐり会館前の横断歩道とセブンイレブン牛島店付近横断歩道でした。



- ②通学路交通安全担当者会議で「対策を検討すべき危険個所」と決定し、合同点検会議に諮ることとしました。

- ③合同点検会議では、合同点検チームで検討をおこないました。

「横断歩道」を新設したり補修したりするのは、警察の管轄なので、松田警察の担当者から以下の回答がありました。

「横断歩道がかすれているのは大変危険なため、早く補修するよう警察本部(交通規制課)に申請をしました。時期は確約できませんが、塗り直しは行います。対策が講じられるのは、令和4年度以降となります。」



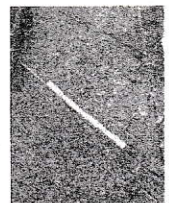
横断歩道は、警察の管轄なので、警察が対策を講じることが分かりました。それでは、他の危険箇所はどうなっているのでしょうか。

道路管理者の対策事例

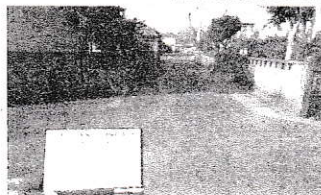
- ▼県道の危険箇所は 県西土木事務所が担当



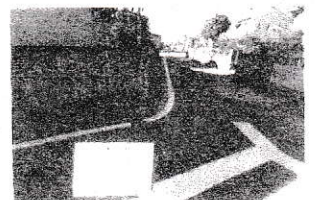
県道の歩道のひび割れを修復し、児童の転倒を防止した。



- ▼町道の危険箇所は 開成町街づくり推進課が担当



補修を行い、運転者に危険度を意識づけた。



対策事例のように、道路管理者および警察が具体的な対策を講じた個所は5個所です。一方で、松ノ木河原第1公園前の町道150号線の横断歩道設置の要望については、調査の結果、設置条件を満たしていなかったため、設置ができません。このように、要望事項がかなわない個所が6個所ありました。具体的な対策がされない個所については、園・各学校で十分状況を理解し、安全教育を徹底することとしました。詳細はホームページをご覧ください。また、防災安全課が設置した看板が1個所、教育委員会が中心になり枝の伐採をした1個所を含め、令和3年度に予定した13個所すべての対策を完了しました。令和4年度も危険個所を見極め、子どもたちの安全を確保していきます。